

# 日本共産党品川区議団が取り上げた質問を紹介します

## 小学5年から柔道の授業 安全対策は万全に

学習指導要領が改訂されたことと、今年4月から中学・高校の体育授業で武道が必修化されます(柔道・剣道・相撲の3つから選択)。

今、全国で柔道の必修化に不安の声が広がっています。過去28年間、中学・高校で起きた柔道事故で114人が死亡し、275人が重い障害を負っています。

石田ちひろ区議は、事故が多発しているからこそ安全対策を万全なものにすべきだと求めました。

名古屋大学の内田良准教授の調査(東海・北陸の7県)で、昨年起きた柔道事故は授業中の事

故(19%)が部活動中の事故(8%)より2.4倍と、深刻な事態が報告されました。

品川ではすでに小中一貫教育のもと、06年度から小学5・6年生は年間3〜5時間、柔道が実施されていました。12年度は、小学校26校、中学校13校が柔道を選択しています。

指導は、教員や協力者(警察官や地域の柔道有段者)2人以上で行います。教員は柔道指導経験のあるなしに関わらず、一回二時間の研修を受けていますが、この体制で充分と言えるでしょうか。

柔道人口が日本の3倍のフラ



ンスでは指導者に国家資格を取らせ、生理学・解剖学・精神教育学・トレーニング法・救急救命の仕方など多岐にわたる知識と技術を身につけさせるなど徹底した対策をとり、05年以降、18歳以下の死亡事故はゼロと報告されています。

指導者研修、安全対策の徹底こそ必要です。

## 磁気ループを公共施設に

南恵子区議は、気軽に社会参加できるよう区の施設に磁気ループの整備を求めました。

「集まりに来たけど、聞こえなくて話の内容がわからないの」と高齢の女性が話してくれました。聴力が衰えると、人の集まる場所に行きたくなくなり、生活が消極的になります。いつまでも豊かに暮らしたいという気持ちは大事です。

現在、設置されているのは、五反田文化センター大ホールだけです。区は新設

および大規模改修の時に整備すると答弁しました。が、1台30万円程度の移動式を一刻も早く買い揃え、各集会施設に整備するように求めました。

おおよび大規模改修の時に整備すると答弁しました。が、1台30万円程度の移動式を一刻も早く買い揃え、各集会施設に整備するように求めました。

### 磁気ループとは

難聴者の聞こえを支援する設備のこと。ループアンテナ内で誘導磁界を発生させることで、音声磁場をつくり、聞こえをしっかりとサポートします。

## 学校選択制は見直しを

学校選択制がはじまって12年。過大校と過少校ができて学校間に格差がうまれています。町会役員の方たちからも「学校と地域のつながりを壊す学校選択制はやめてほしい」という声が寄せられています。

加えて、新たな問題が明らかになりました。定員を超えた場合抽選になります。抽選にもれ、2月末まで入学を待っても入れなかった子どもは、中学校で18人、小学校で62人もいたのです。

区は、「事前に情報を出している。リスクも含めて選ぶのは保護者だ。」といい、保護者に責任を転嫁。

共産党は、学校と地域のつながりを壊し、子どもの心を傷つけるのでやめるべきだと学校選択制の中止を求めました。



## 生活相談はお気軽に

## 日本共産党



石田ちひろ

事務所：南品川6-19-8

電話：546622133

孤立死なくす

孤立している人の多くが貧困世帯。実態調査と支援の充実を求めました。



いいぬま雅子

事務所：小山2-16-1

電話：378715425

区立認可保育園増設を

民間まかせて待機児が478人に増加。区立保育園増設で、全員早期入園を求めました。



鈴木ひろ子

事務所：中延2-11-7

電話：378388803

さらなる特養ホームの増設を

請願21回。八潮につづき、杜松小跡、平塚橋会館に特養ホーム実現を求めました。



なかつか亮

事務所：大井3-19-7-101

電話：37733231

中小企業センターで雇用就労施策スタート

まともな雇用が奪われている実態を取り上げ、ついに就業センターを開設させました。



南恵子

事務所：南大井3-11-8-2F

電話：32698-25930

放射能測定継続を

3月に放射能測定をするので前より高い数値に。区が中止したホットスポット測定の再開を求めました。